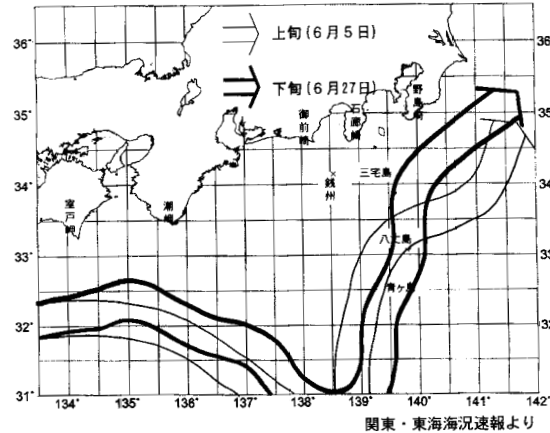


漁海況月報

平成 30 年 6 月 1 日

No. 6 ~6 月 30 日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



6 月定地水温の旬平均値 () (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	21.3	21.2	21.3	21.7	21.8	22.0
	1.5	2.1	1.9	1.2	1.2	1.4
中旬	22.0	21.6	21.4	21.9	21.5	22.2
	1.5	2.0	1.6	0.8	0.0	1.2
下旬	21.6	20.9	20.7	22.7	22.7	22.0
	0.3	0.3	-0.1	0.5	0.6	0.2
月	21.6	21.2	21.1	22.1	22.0	22.1
	1.1	1.4	1.1	0.8	0.6	0.9

*地頭方の水温観測は終了しました。

【黒潮流路】

6 月を通じて A 型で、上旬は潮岬沖 32°N から南東に進み、31°N 以南、138.5°E 付近から伊豆諸島の西を北上し、三宅島の南 33.5°N 付近から北東に流去した。中旬は潮岬沖 32°N から南東に進み、31°N、138°E 付近から東北東に向かい、32°N、139.5°E 付近から八丈島の西を北上し、三宅島の南 33.5°N 付近から北東に流去した。下旬は潮岬沖 32°N から東南東に進み、31°N、138.5°E 付近から北北東に向かい、三宅島の東 34° 付近から北東に流去した。

月を通じて、本県沿岸への顕著な暖水波及はみられなかった。

【県下沿岸域】

6 月上旬は、雲見、沼津、焼津「やや高め」、伊東、稲取、下田「高め」であった。中旬は、沼津「平年並」、雲見、焼津「やや高め」、伊東、稲取、下田「高め」であった。下旬は、伊東、稲取、下田、雲見、焼津「平年並」、沼津「やや高め」であった。

【竿釣りカツオ】

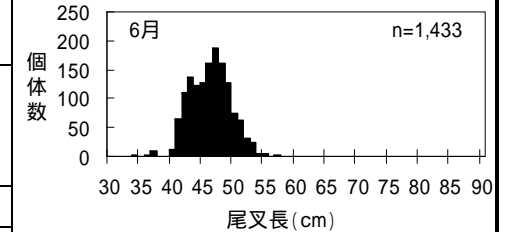
6 月の県内主要 5 港 (沼津、清水、焼津、小川、御前崎) における近海及び沿岸竿釣り船によるカ

ツオの水揚量は 113 トンで前年同月 (115 トン) の 98% であった。魚価は 420 円/kg で前年同月 (404 円/kg) を上回った。

漁場は 33-35°N、138-140°E の伊豆諸島周辺や駿河湾沖の海域であり、水揚げされた魚体の主体サイズは、小(尾叉長 47cm モード)、極小(尾叉長 42cm モード)、中(尾叉長 50cm モード)であった。

竿釣り (近海+沿岸船) カツオ水揚量 (県内主要 5 港)

期間	水揚量 (ト)	水揚隻数	平均水揚量/隻 (ト)	平均単価 (円/kg)
30 年 6 月上旬	47	12	3.9	469
中旬	50	14	3.6	340
下旬	16	10	1.6	529
30 年 6 月計	113	36	3.1	420
29 年 6 月計	115	32	3.6	404
28 年 6 月計	150	59	2.5	439



御前崎港における尾叉長組成

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網 7 か統 (伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津) の水揚量は 134.2 トンで前年の同漁場の水揚量 (213.5 トン) の 63% であった。また、1 か統あたりの平均水揚量は、19.2 トンで前年 (30.5 トン) の 63%、平年 (昭和 57~平成 29 年の平均 60.3 トン) の 32% であった。水揚量の多い漁場は、伊豆山漁場 (33.4 トン、カタクチイワシ、マイワシ、さば類)、次いで古網漁場 (26.1 トン、カタクチイワシ、マイワシ、さば類) であった。

多獲された魚種の水揚量は以下 (表) の通りで、カタクチイワシは 29.7 トンで前年比 60%、平年比 56% であった。ブリは 23.2 トンで前年比 94%、平年比 1.3 倍、銘柄わらさ主体であった。銘柄わらさは 18.8 トンで前年比 1.1 倍、平年比 1.8 倍であった。さば類は 17.9 トンで前年比 39%、平年比 16% と低調であった。さば類のうち、マサバは 7.1 トンで前年比 1.8 倍と前年を上回ったが、平年比は 38%、ゴマサバは 10.8 トンで前年比 26%、平年比 11% といずれも平年比で見ると低調であった。漁獲サイズは両種とも尾叉長 30~35cm 主体であった。マイワシは 13.6 トンで前年比 68%、平年比 44% であった。イサキは 12.6 トンで前年比 76%、平年比 2.1 倍であった。その他の魚種については、マルソウダが 0.2 トンで前年比 22%、平年比 0.5% と平年を大きく下回った。一方、ホウボウが 1.5 トンで前年比 6.7 倍、平年比 8.8 倍と前年、平年を大きく上回り、6 月の漁獲量としては昭和 58 年以降最も漁獲量が多かった。

多獲された魚種の主な漁場は以下 (表) の通りで、カタクチイワシは伊豆山漁場が 44% (13.1 トン)、古網漁場が 33% (9.7 トン)、ブリは谷津漁場が 32% (7.4 トン)、富戸漁場が 23% (5.3 トン)、さば類は伊豆山漁場が 23% (4.1 トン)、川奈漁場が 20% (3.5 トン)、北川漁場が 19% (3.4 トン)、マイワシは伊豆山漁場が 48% (6.5 トン)、古網漁場が 26% (3.6 トン)、イサキは北川漁場が 34% (4.3 トン)、赤沢漁場が 31% (3.8 トン) を占めた。

(表) 多獲された魚種の漁獲量と主な漁場

魚種	漁獲量 (トン)	前年比	平年比	主な漁場
カタクチイワシ	29.7	0.60	0.56	伊豆山、古網
ブリ	23.2	0.94	1.27	谷津、富戸、北川
さば類	17.9	0.39	0.16	伊豆山、川奈、古網、北川
マイワシ	13.6	0.68	0.44	伊豆山、古網
イサキ	12.6	0.76	2.06	北川、赤沢、谷津

[サバ 棒 受 網]

小川港所属の棒受網漁船は棒受網で操業し、漁場は、上旬は主に大室出し、中旬は三宅・三本、下旬はひょうたん瀬に形成された。水揚量はゴマサバ 827 トン（前年同月比 101%）であり、1 隻あたり水揚量はゴマサバ 21.2 トン（前年同月 21.5 トン）であった。マサバの水揚げはごく僅かであった。

1kg あたり平均単価はマサバ 227 円で前月（99 円）前年同月（204 円）を上回った。ゴマサバは 93 円で前月（98 円）を下回ったが、前年同月（93 円）と同額であった。

漁獲されたゴマサバの体長組成は尾叉長 30cm にモードを持つ単峰型であった。

小川港 さば類（棒受網漁業）水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
30年6月上旬	0	367	5	21	0.0	17.5	222	94	大室出し、三本
中旬	0	340	4	12	0.0	28.4	242	94	三宅・三本
下旬		120	1	6		19.9		88	ひょうたん瀬
30年6月計	0	827	10	39	0.0	21.2	227	93	大室出し、三宅、ひょうたん瀬
29年6月	0	816	11	38	0.0	21.5	204	93	銭洲、三本
28年6月		985	12	34		29.0		92	三本、三宅

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

*表中の「-」は水揚げがなかったこと、「0」は水揚げがごく僅かであったことを示す。

[サクラエビ 船 曳 網]

平成 30 年春漁は 6 月 3 日夜の操業で終漁した。6 月の出漁日数は 1 日（前年同月と同じ）、水揚量は 5 トン（前年同月 32 トン）で、1 日 1 か統あたりの漁獲量は 78 kg（前年同月 540 kg）と昨年同様に比べて大幅に下回った。

主な漁場は、湾奥部（興津沖～由比沖）に形成された。水揚げされたサクラエビの体長組成は、漁場によって異なるが体長 30～35 mm の群と 38～45mm の 2 群があった。

なお、春漁全体では出漁日数は 19 日と前年（25 日）より少なく、漁獲量は 312 トンと前年 811 トンを大幅に下回った。

サクラエビ水揚量

期 間	水揚量(トン)	日数	1日1か統当たり平均漁獲量(kg)	漁 場
平成30年6月上旬	4.7	1	78	興津沖～由比沖
中旬	-	-	-	-
下旬	-	-	-	-
平成30年6月計	4.7	1	78	興津沖～由比沖
平成29年6月計	32.4	1	540	富士市沖～興津沖
平成28年6月計	59.1	2	492	富士川沖～三保沖 焼津沖～相良沖
平成27年6月計	-	-	-	出漁なし

[シラス 船 曳 網]

県内主要 6 港における 1 日 1 か統当りの水揚量は、駿河湾（静岡、吉田）が 150kg、遠州灘（御前崎、福田、舞阪、新居）が 228kg であった。平均水揚量は 196kg と前年同期（375kg）の 52%、前年同期（過去 5 か年平均：550 kg）の 36% であった。また、総水揚量は 212.5 トンで前年同期（485.8 トン）の 44%、前年同期（813.8 トン）の 26% と、前年同期と前年同期を下回った。平均単価は 1,322 円/kg と、前年同期（606 円/kg）の 2.2 倍、前年同期（443 円/kg）の 3.0 倍と、前年同期と前年同期を上回った。

シラス水揚量（主要 6 港）

漁 港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均漁獲量(kg/統)	平均単価(円/kg)
新 居	18.4	8	81	227	1,155
舞 阪	68.1	8	271	251	1,195
福 田	40.7	8	201	203	1,167
御前崎	18.4	8	85	217	1,378
吉 田	41.2	12	225	183	1,533
静 岡	25.6	11	221	116	1,648
平成30年6月計	212.5	55	1,084	196	1,322
平成29年6月計	485.8	71	1,296	375	606
平成28年6月計	233.5	62	1,135	206	877

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

*前年同期：過去 5 か年（平成 25～平成 29 年）平均値

[まき 網 (い わ し 類)]

マイワシの水揚量は、小川港では 0.2 トン（前年同月比 0.08%、前年同月比 0.3%）、沼津港では 250.8 トン（前年同月比 20.7%、前年同月比 71.1%）、伊東港では 1.2 トン（前年同月比 1.1%、前年同月比 4.4%）、静岡港では水揚げがなかった。カタクチイワシの水揚量は、小川港では 23.2 トン（前年同月比 54.3%、前年同月比 64.6%）、沼津港では 1.3 トン（前年同月比 0.6%、前年同月比 2.1%）、伊東港、静岡港では水揚げがなかった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網 8 か統の水揚量は、マイワシが 13.6 トン、カタクチイワシが 29.7 トンであった。

*前年：過去 5 か年（平成 25～平成 29 年）平均値

[調 査 船 駿 河 丸 の 動 向]

6月 4日 ~ 6月 6日	地先定線観測調査	(3日間)
6月 7日	公共用水域水質測定調査	(1日間)
6月 13日 ~ 6月 14日	伊豆諸島周辺カツオ魚群分布調査	(2日間)
6月 19日 ~ 6月 20日	いわし類卵稚仔分布調査	(2日間)
6月 25日 ~ 6月 26日	サクラエビ調査(卵数法)	(2日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星 NOAA の海面水温分布画像と 関東・東海海況速報を見ることができます。

